

動 物 學 雜 誌 第 四 拾 七 號

(後翅ノ一端細長ナル部分)細長ナルニ因テ *P. demetrius*
ト容易ニ識別セラル・ナリ

(6) *Papilio alcinous*

P. alcinous, Kaug. Neue Schmett.t.i. 1836.

P. Spathatus, Butl. Ann. & Mag. Nat Hist.

Ser.5, vii.p.139.

日本ノ中央及南部 II 細通ナリ

夏產ハ春產ヨリ較々大ニテ尾長シ余カ日本ノ南部ヨリ
獲タル或ル標品ハ北支那ノ *P. mencius*, Feld. ハ甚々能
ク似タルモノアリ

(7) *Papilio helenus*, Linn.

P. nicconicolens, Butl. Ann. & Mag. Nat. •

Hist. Ser.5, vii.p.139.

此ノ美シキ種ハ四月長崎、肥後、薩摩ニ妙ナカラズ土佐

ニモ亦產ス

後翅ヨ在ル黃色ノ斑文ノ濃厚ナルニ就テ日本ノ種ハ特異
ナリト説明セラレタリシガ確實ナラズ余ガ Hong-kong,

Foochau, 及ニ Ningpo ヨリ獲タル支那產ノ標品ト異ナル
所ヲ視ス

(8) *Papilio mennenii*, Linn.

P. thunbergii, Siebold, Hist.Nat. Jap.p.16.

(1824.)

四五月頃ニ日本ノ南部ニベ數ナカラズ

九州ニ於テ獲タル雌ノ中テ二品トムテ全キモノナク又
雄ノ或ルモノハ雌蝶ノミニ具フル所ノ赤色ノ斑文ヲ前翅
ノ基部ニ具フ余カ Ningpo, Foochau, Hong-kong, Saigon,
及ニ Singapore ニ於テ獲タル標品ヨリ亦其變化ヘ一様ノ結
果ヲ呈セリ

(9) *Papilio sarpedon*, Linn.

日本南部及中央 II へ甚々普通ナリ

夏產ハ春產ヨリモ常ニ大ニテ且黑色勝レリ嘗テ *P.
teredon*, Feld. (Reise Nov. Lep. i.p. 61. (1865). ュ混同セシ
ガ此種ヘ Ceylon ハ產スル由日本ニベ產セス (ツ・タ)

●御獄ノ動物 余頃日神奈川縣下西多摩郡ニ所用、ア

明治廿五年九月十五日

西園千代松君ノ通信

第四卷

三七二

サチ御獄ノ山麓ヲ徘徊スル序ヲ以テ此靈場ニ詣テバヤト
 氷川村ノ下蟹ハ澤ト方呼ベル澤ヨリ登リケルニ四五町程
 ニシテ農家五六軒アリ休息テ山ノ様子ヲ問フニ此邊野兔
 多ク猪鹿ハ稀ナリ雉子ヨリやまとどり多シト答フ夫ヨリ三
 十町程ノ間ハ傾斜甚シク登ルニ困難ナリシタメ他ニ注目
 スル暇モナク字大楷ト呼フ所ニ至リテ道モ稍々平坦ニナ
 リシカバ歩ムニ骨モ折レザレバ左ヲ顧ミ右ヲ視テ枝上ニ
 飛鳴スル鳥類ヲ數フルニひよどりこげら。わなが。めじ
 ろ。杉林ニあかけら。きじばとノ鳴聲アリかけずノ叫聲松
 林中ニ喧シ蝶類ハ割合ニ少クくるあげは。いちもんじ殊
 ニ多シ蟬類ノ山上ニ居ルモノみやませみ。及あかせみ此
 種ハ東京ニテあぶらせみト云フ種ニ似タレ其鳴聲大ヒ
 ニ異ナレリ果シテ別種ナルヤ否ヤ詳細ハ歸京ノ後チ報道
 スベシ夜ニ入リテふくろノ聲モ聞ヘケル倍テ茲ニ特筆シ
 テ是迄此靈山ニ杖ヲ引カレタル諸君ニ報道否ナ質問致シ
 度キ奇島アリ御獄ノ八景ニ數ヘラル、モノニテ當山ニテ
 びきたうどりト云ヘバ兒童モ能ク其名ヲ知ル所ノ鳥ニシ

テ未タ其形狀ヲ審カニ知ルモノナシ余モ此夜圖ラズ其鳴
 聲ヲ聞ケリ始メ之ヲ聞シトキハ遠ク布施鉢ノ音ヲ聞ク如
 シ近ク之ヲ聞クトキハひよ／＼ひよ／＼ト聞コユ其
 時家ノ主人ト對話中ナレバ何音ナルヤト問フニ彼コソ此
 山ニ名高キ所ノごきたうどりナリト云ワレテ聞ケバでき
 たう一トモ聞コユ主人曰此鳥常ニ夜ル鳴キ晝ル鳴クノ稀
 レナリ霧ノ深キ井枝上ニ鳴クノアリ月夜ニ能ク鳴ク毎年
 三月頃ヨリ十月頃迄鳴聲ヲ聞クニ羽居リテ一羽ノ聲ハ低
 ク今鳴クモノハ音聲ノ高キ方ナリ雌雄ニテアラン歟何分
 書鳴カザレバ誰モ其形ヲ能ク視察セルモノナシ併シ夜中
 目撃スル所ニテハ鳩ヨリ較シ小ナリト云フ果シテ何鳥カ
 余ノ淺學ナル其形チヲ知リテ未タ其鳴聲ヲ聞カザルモノ
 鈔シトセズ例ヘベぬへつくみ。Cuculus kelungensis 及ヒ
Euryystomus orientalis ノ如キ如何ナル鳴聲ヲ發スルヤ未
 タ審カニセス乞フ御承知ノ諸君ハ教諭アランコヲ

●石川千代松君ノ通信 余ハ去ル七月下旬ヨリ
 相州高座郡鵠沼村ノ海濱ニ來リ毎日近傍ヲ徘徊スル内動